



「1学期が終わります」

早くも18日(金)で1学期が終わり、37日間の夏休みに入ります。やり残したことはありませんか。学年によっても違いますが、特に夏休みの前半はいろいろな行事があります。自由水泳や図書の貸し出し、アイガモのお世話や自然探検隊、水辺の生き物観察会や体験学習会、地域のお祭りなど、日ごろ経験できないことがたくさんです。ぜひ積極的に参加して、いろんな経験をしてください。2学期にはひとまわり成長したみなさんに、会えることを楽しみにしています。

保護者や地域のみなさまには、様々な形でお世話になりました。夏休み期間も含め、今後もよろしくお願いいたします。

夏休み



「摘果体験」

3年生のみなさんが、8日にみかんの摘果体験をさせてもらいました。摘果の前には、木の下に敷いたマルチシートを押さえる土袋を置いたり、水を使って消毒の体験をしたりもしました。



摘果は、大きい実や小さい実、傷のある実を取って、ちょうどいい大きさの実をバランスよく残さなければいけないということで、子どもたちにはなかなか難しい作業です。おいしいミカンを育てるため、夏の暑い日に1本1本行う摘果の大変さがわかりました。



「やさしさのハート」

スマイルアップの取り組みのひとつで、児童会のみなさんが「やさしさのハート」を企画してくれました。ハート形の紙に、友達にしてもらってうれしかったことを書いて箱に入れると、小さなハートがいっぱいたまったら大きなハートになります。お昼には児童会のみなさんが、ハートに書かれたことを放送で紹介してくれています。した人もしてもらった人もうれしい気持ちになります。



「育友会・運営協議会合同研修会」

6月27日に開催され、育友会委員と運営協議会委員のみなさんが、CSマイスター下田喜久恵氏より、「コミュニティ・スクール」のお話を聞かせていただいた後、3グループに分かれ、学校や地域について意見交換を行ってくださいました。



「田んぼの学校」

6月下旬に事件が起きました。田んぼデビューを果たしたアイガモたちのうち、6羽が田んぼから脱走しました。気づいてくださったみなさんの必死の搜索の結果、沖池の近くで発見され、無事捕獲されました。用水路をたどり、いくつかの段差も越えて行ったようです。なかなかのたくましさですが、田んぼに戻ると相変わらず、小屋の中で寝ていることがほとんどです。たまたま見に行った時だけだと思いますが・・・。



「はみがき指導」



みなさんは「8020運動」を知っていますか。これは自分の歯を80歳で20本以上残そうという取り組みです。始まった1989年ごろは約7%の達成率でしたが、2022年度調査では51.6%の達成率になっています。健康長寿のためにも歯は大切です。

学校でも全学年で養護教諭が、はみがき指導を行いました。また、週1回のフッ化物洗口も継続し、むし歯予防に取り組んでいます。

